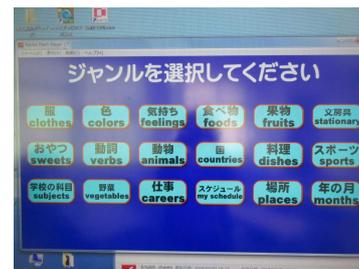


5 研究の視点4「日常の中での英語に触れる機会と言語環境の工夫」

(1) 朝の会での慣れ親しむ場の位置付け

児童が日常的に英語に触れる機会を増やすために、朝の English time を設定した。ALT と ICT 支援員に協力を依頼して作成した「白旗チャンツ DVD」(資料⑤) や ALT から紹介され取り入れた「Super Simple English Song DVD」を活用し、電子黒板の映像を参考にして楽しく英語に触れる機会を設けた。毎朝数分の取組ではあるが、継続することで英語の音声に十分慣れ親しむ姿が見られた。



【資料⑤ 白旗チャンツ】

(2) 校内放送の活用

校内放送に英語を取り入れた。放送委員が朝から英語で放送し、お昼の放送では児童に馴染みのある English song を流したり、給食委員が給食のメニューを英語を交え伝えたりしている。また、ALT が来校する水曜日には ALT に給食メニューを英語で放送してもらうことで、全校で英語に親しんだ。

(3) 英語に関する掲示の充実

英語に親しむために、英語環境を整備することで、日頃から英語に触れ親しむことができると考えた。そこで、英語掲示板の設置をしたり、階段の掲示や教室名の掲示を英語で表記したりした。また、各学級に英語辞典を置いたりアルファベットポスターを掲示したりして、英語の授業時だけではなく日常的に活用できるように英語に慣れ親しむ環境を整えてきた。



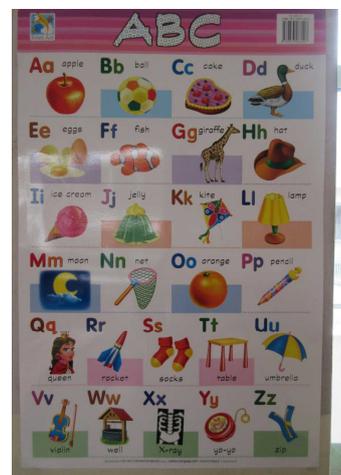
【写真④図書室英語コーナー】



【写真⑤英語辞典を教室に常備】



【写真⑥行ってみたい！世界の国々】



【写真⑦教室アルファベットポスター】

(4) 英語を使う場の設定

児童が慣れ親しんだ英語を使って活動する場を設定すれば、さらに英語への興味関心が深まると考えた。そこで、担任による英語絵本の読み聞かせ、休み時間のパズル、学び集会や仮設住宅での発表などを行った。さらに全学年外国語の授業参観を実施し、保護者への発信も実施した。ALT の両親が来日した折には、慣れ親しんだ表現を使って自己紹介やゲームを行い、国際交流を経験した。



【写真⑧ALT国際交流】



【写真⑨担任による読み聞かせ】